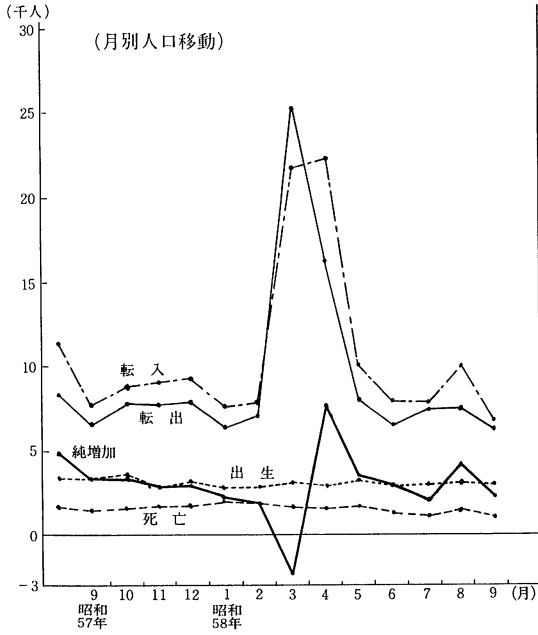


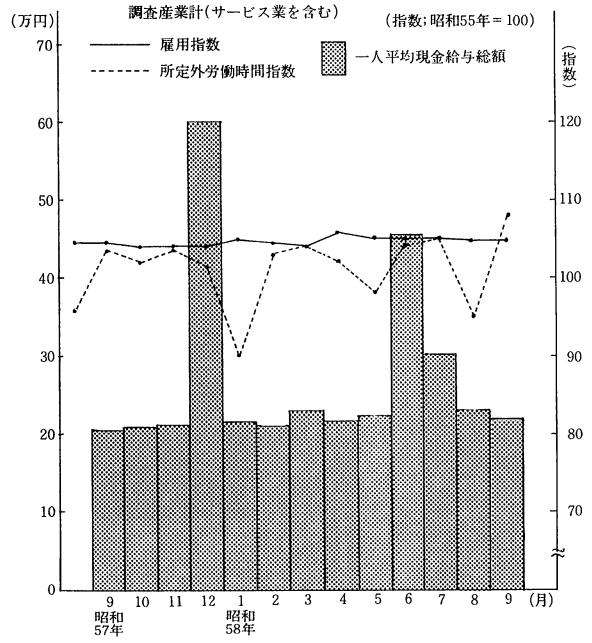
●今月の主な動き

今月の主な動き

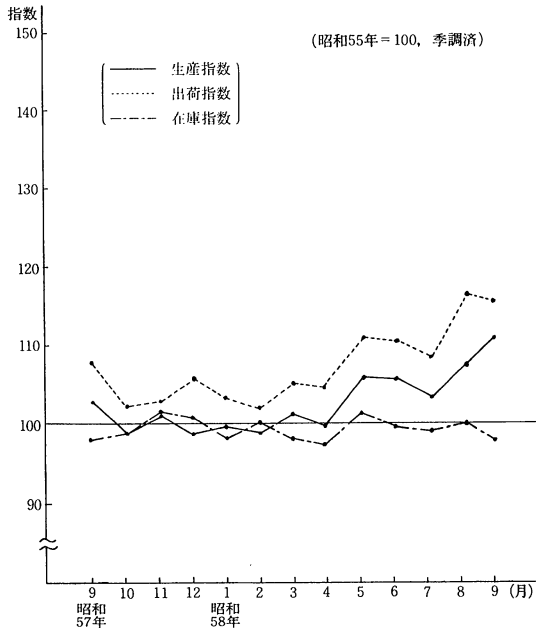
人 口



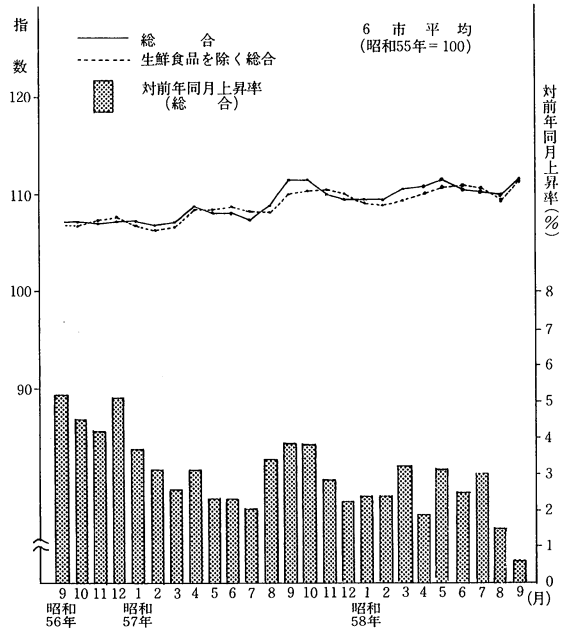
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部統計課

■人口(10月1日)

本県の人口は、9月中に2,325人増加し、2,665,239人となった。昨年10月1日と比較すると32,830人(1.25%)の増加である。今月は例年社会移動が比較的少ない月であるが、先月に引き続き、9月中の増加としては昭和47年の2,132人に次いで少ない増加数である。

内訳は、自然動態で1,900人(出生3,042人、死亡1,142

人)増加したが、社会動態では425人(転入7,014人、転出6,589人)と増加はわずかである。

市町村別では、増加15市55町村、減少3市18町村、増減なし1村である。牛久町、取手市、勝田市で増加が100人を超えている。

世帯数は564世帯増加し737,273世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(9月)

1. 平均賃金の推移

9月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む。)1人1ヵ月平均現金給与総額は213,971円で、前月に比べ3.9%減(前年同月比3.3%増)であった。

このうちきままって支給する給与は212,806円で、前月に比べ1.6%増(前年同月比3.7%増)であり、特別に支払われた給与は1,165円で、前月に比べ12,289円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は179.7時間で、前月に比べ7.6%増(前

年同月比1.9%増)であった。

このうち所定内労働時間数は162.9時間で、前月に比べ7.0増(前年同月比1.7%増)であり、所定外労働時間数は16.8時間で、前月に比べ14.3%増(前年同月比4.3%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、105.0で、前月と保ち合い、前年同月に比べ0.5ポイント増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(9月)

昭和58年9月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が111.3、出荷が115.5、在庫が97.6で、前月比は、生産が3.2%の上昇、出荷が△1.1%、在庫が△2.5%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が8.7%、出荷が7.3%の上昇、在庫は横ばいである。

生産を業種別にみると、鉱業、輸送機械、精密機械等が上昇し、石油・石炭製品、その他の製品等が低下した。

出荷を業種別にみると、輸送機械、精密機械等が上昇し、

鉄鋼業、一般機械等が低下した。

在庫を業種別にみると、鉱業、非鉄金属等が上昇し、電気機械、石油・石炭製品等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、その他用生産財が上昇し、資本財等が低下した。出荷では、建設財、非耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財、その他用生産財等が低下した。在庫では、鉱工業用生産財が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。

■消費者物価指数(9月) 一対前月比(+)1.7%の上昇、対前年同月比(+)0.5%の上昇一

昭和58年9月の茨城県消費者物価指数は、55年を100とした総合指数で112.1となり、前月に比べ(+)1.7%の上昇、前年同月に比べると(+)0.5%の上昇となっている。

今月上がった主な項目……衣料(+)40.1%、シャツ・下着(+)17.6%、乳卵類(+)3.6%

今月下がった主な項目……果物(-)7.1%(うち生鮮果物(-)7.4%、魚介類(-)2.6%

費目別指数(55年=100)

1 食料は	111.9	6 保健医療は	106.1
2 住居は	112.2	7 交通通信は	106.7
3 光熱・水道は	108.8	8 教育は	127.6
4 家具・家事用品は	104.4	9 教養娯楽は	112.1
5 被服及び履き物は	120.7	10 諸雑費は	112.1